

## 初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

### 1 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。



### 2 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のものを活用する。

#### 火元別初期消火のコツ

##### 油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

##### 石油ストーブ

真上から一気に水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて（できればブレーカーも切る）消火を。

##### 衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類（化繊は避ける）やタオルなどを頭からかぶる。

##### 浴室

浴室からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

##### 電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて（できればブレーカーも切る）消火を。

##### カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

### 3 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、すみやかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。



## 竜巻対策

発達した積乱雲からは、竜巻、ダウンバーストといった、激しい突風や雷をもたらす現象が発生します。竜巻は、積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻きで、多くの場合、漏斗（ろうと）状または柱状の雲を伴います。直径は数十～数百メートルで、数キロメートルに渡って移動し、被害地域は帯状になる特徴があります。

#### 竜巻注意情報 (気象庁)

<http://www.jma.go.jp/jp/tatsumaki/>



**「竜巻」が間近に迫ったら… いろいろな物が猛スピードで飛んできます！**

#### 屋内では

- 窓から離れる。
- 窓やカーテンを閉める。
- 丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。
- 家の1階の窓の少ない部屋に移動する。

#### 屋外では

- 頑丈な建造物の物陰に入って、身を小さくする。
- 物置や車庫、プレハブの中には入らない。
- シャッターを閉める。
- 電柱や太い木には近づかない。

## 雷対策

**「雷」から身を守るには… 遠くで音がしたらずでに危険な状態です！**

- グラウンドやゴルフ場、海の上などの開けた場所や、山頂などの高いところは危険！
- 電柱、鉄塔などの高い物体には近づかないように！
- 高い木の近くは危険！2m以上は離れてください！
- 姿勢は低く、持ち物は体より高くしないように！
- 建物や車の中は比較的安全な空間。
- 木造建築物の中では、電気機器や壁から1m以上離れば更に安全。
- 雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な場所へ移動しましょう。

#### レーダー・ナウキャスト (降雨・雷・竜巻) (気象庁)

<http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>

